

【文部科学省認定「教員免許状更新講習」】

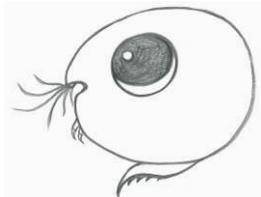
サンタからの贈り物をゲット！ 免許状更新講習



12月24日（火）～26日（木）、平成25年度「教員免許状更新講習」（主催：国立江田島青少年交流の家）が、青少年交流の家を会場に行われました。今回のテーマも「授業づくりに活かせる体験活動～海が学校！海が先生！～」。江田島市ならではの「海」を舞台に、体験活動の意義や学習指導要領における取扱いについて理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法などを講義や実習を通して習得するというものです。「カッター研修」や「野外炊事」、「海辺の生き物観察」といった実技講習、大学教授による講義など、バラエティー豊かな講習内容となりました。

さとうみ科学館担当のプログラムでは、日の出前の朝7時から海に出ての生物観察も行いました。寒～い野外研修となりましたが、クリスマスの朝にみんなで探した生き物たちは、日頃なかなか目にする事のない不思議な生き物たちばかり。サンタさんからの自然の贈り物を「みて、さわって、考えて」、互いに多くの発見をわかちあうことができました。「子どもにとって必要な体験や『生きる力』の核となる豊かな人間性とは？」、また、「具体的な体験を『単なる活動』ではなく『学び』にしておくためには？」、教員がどういう見通しを持っておかなければならないのかを、我々講師ともども考える3日間となりました。

「ウミホタル」の歌を知っています



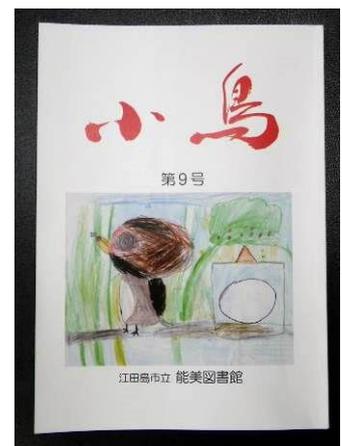
先月、能美図書館が制作している児童文学誌「小鳥」の第9号が発行されました。もうご覧になりましたか？最新刊のトップを飾るのは『ウミホタル』という童謡です。作詩作曲は、さとうみ科学館友の会員でもある山村和子さん。昨年9月に開催したウミホタルの観察会に参加した際、一瞬でウミホタルに心奪われ、「海も景色も真っ暗闇の中で、ウミホタルの青い光だけがフワッと広がる、あの青い世界を音にしてみたい！」と歌をつくられたそうです。「小さな小さなウミホタルと、江田島の豊かな海（里海）を思い浮かべながら歌ってほしい。『瀬戸内海は生き物同士がつながりあった豊かな海』という話が心に残っています。できれば今後も海の生き物シリーズで作品を作っていきたい」と話していました。新しい作品が出来たら、またこのニュースレターでも紹介させていただきますね！

ウミホタル
詩・曲 山村 和子

一
ほたる ほたる ウミホタル
よるは うみのなかで
ふうわり きらりと うみのほし
あおくひかる

二
ほたる ほたる ウミホタル
おひるは すなのなかで
すうすう すやすや のんびりと
ゆめをみてる

三
ちいさな ちいさな ウミホタル
おおきな おしごとしてる
ごほんを ぱくぱく たべたら
ふるさとの うみそうじ
うみもひかる



能美図書館 発行
児童文学誌『小鳥』（第9号）

やってみよう 見てみよう

『恋』を形に!』の巻

自然にふれると、多くの「感動」に出会います。その「感動」は、時に『恋』に似たものなのかもしれません。「恋する」は、古くは、異性に限らず、花・鳥・季節なども含め、目の前にない対象を慕う気持ちを表したそうです。自然に対する『恋心』を、歌や絵などいろんな形で表現してみましょう!

ウミホタル

(山村和子 作詩作曲)



ほたる ほたる ウミホタル よるは うみの なかで
ほたる ほたる ウミホタル おひるは うみの なかで
ちいさな ちいさな ウミホタル おおきな おしごと なかです

ふうわり きらりと うみの—ほ しと あおく ひかて る
すうすう すうすう きらりと うみの—んぴり と あおく ひかて る
ばくばく ばくばく こはん た—べ—た

ら— ふるさ との うみそ うじ うみも ひか る

※「小鳥」に掲載されている作品と比べ、3番の詩に変更があるようです。

◆ 作曲家からのメッセージ ◆

- ♪：冒頭の4小節、特に3・4小節に、海にいるホタルを知った感動や青い光に心奪われた思いが込められています。ウミホタルに呼びかけるように歌ってください。
- ♪：伴奏の部分に「分散和音」(アルペジオ)がたくさん出てきます。音楽記号の意味合いだけではなく、ウミホタルの青い光(色の広がり)を音で表現してみました。
- ♪：3番、特に最後の8小節は、海の中で小さな生き物たちが互いに作用しあって(食物連鎖など)、一生懸命生きているを感じて歌ってもらえたらうれしいです。